日刊 動労千葉

80.5.19

NO. 431

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二－八（動力車会館）
（鉄電）二二五八～九・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

動労千葉結成一周年記念行事 第1回卓球大会

館山支部団体優勝をかざる 個人戦・40才以上 染谷昭和氏

動労千葉結成一周年記念サークル行事は、四月三十日、百五十名を結集して開催されたソフトボール大会、五月十日、九十四名をもって行われたボーリング大会がそれぞれ成功裡のうちにかちとられている。このサークル行事を成功させた力は、「四・一五」を口実とした、当局・「本部」反動分子一体となった不当処分策動粉砕をめざした、五月総決起行動にかぎりない活力を与えている。

十日九時三十分より、千葉市・公園体育館で行われた、第一回卓球大会は、六十四名の選手及び応援の家族組合員も参加し盛大に開催された。

試合は団体戦、そして個人戦は三十九歳以下と四十歳以上に分けて行われた。

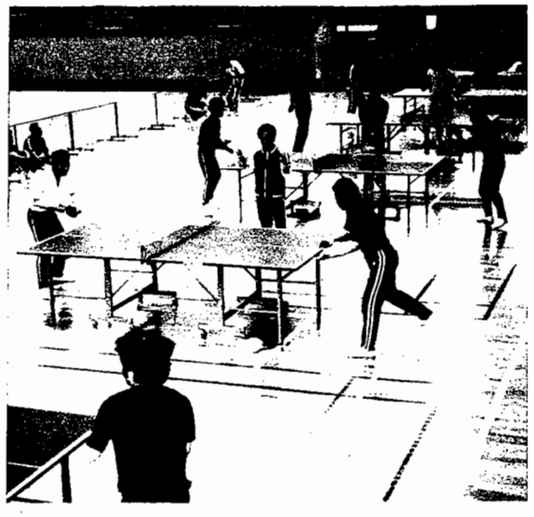
団体戦の試合経過は、試合前、誰しもが予想だにしなかった動労千葉本部チームが、善戦につぐ善戦で決勝戦に勝ち進むという〝ハプニング〟を起し会場を大いに湧かせた。決勝戦では、本部チームと館山支部チームが優勝をめざして熱戦を繰りひろげ、2対2のまゝ決戦にもつれこんだが、館山支部チームの実力の前に本部チームが粉砕され、館山支部が晴れの優勝をかざった。

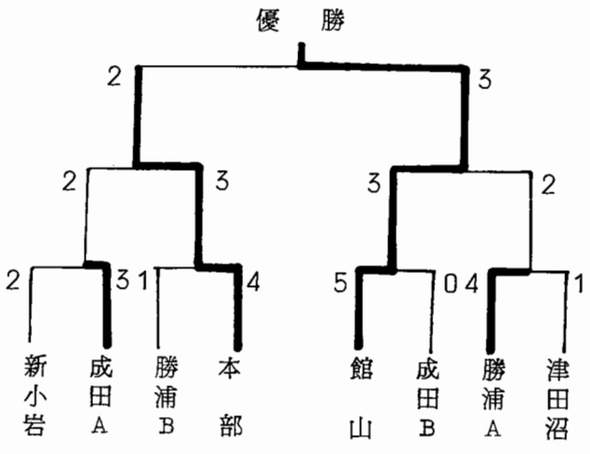
特に成田、勝浦支部は二チームを編成して参加し、選手層の厚さを示したが武運つたなく仲良く三位を分けあった。

個人戦は、三十九歳以下の部では、新生動労千葉にふさわしく若手選手が大活躍し、繁沢選手（千葉転）が優勝をさらい、四十歳以上の部では、染谷選手が日頃の実力を発揮してあぶなげなく勝ち進み優勝をかざった。

なおこの四十歳以上の部で特記すべきことは、なんと！　中野選手（本部）が三位に入賞し、試合終了後、「くじ運が良かったのでは……」等とささやかれる場面があった。

表彰式の後、染谷審判長講評で「かつてない動労千葉にふさわしい大会であり、試合内容であった。これを機会に更に卓球部会の運動を発展させよう。各選手は大いに頑張ってほしい」という挨拶をうけ、成功裡のうちに閉会した。





大会成績

団体戦
優勝　館山支部
準優勝　動労千葉本部
第三位　勝浦支部A
　　成田支部A

個人戦
四十歳以上の部
優勝　染谷昭和（館山）
準優勝　関　豊（本部）
第三位　沢　秀治（勝浦）
　　中野　洋（本部）

三十九歳以下の部
優勝　繁沢敬一（千転）
準優勝　大須賀昭男（成田）
第三位　伊藤憲保（新小岩）
　　君塚時雄（勝浦）

敢闘賞
榎　勉（勝浦）　大関正明（新小岩）
山崎　健（成田）　石川義雄（津田沼）
白井敏行（千転）　鈴木農雄（成田）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！